

対馬市告示第14号

令和3年第1回対馬市議会定例会を次のとおり招集する

令和3年2月12日

対馬市長 比田勝尚喜

1 期 日 令和3年2月25日（木）

2 場 所 対馬市議会議場

○開会日に応招した議員

坂本 充弘君	伊原 徹君
長郷 泰二君	春田 新一君
小島 徳重君	吉見 優子君
渕上 清君	黒田 昭雄君
小田 昭人君	山本 輝昭君
波田 政和君	小宮 教義君
齋藤 久光君	初村 久藏君
大浦 孝司君	大部 初幸君
作元 義文君	上野洋次郎君
小川 廣康君	

○2月26日に応招した議員

坂本 充弘君	伊原 徹君
長郷 泰二君	春田 新一君
小島 徳重君	吉見 優子君
渕上 清君	黒田 昭雄君
小田 昭人君	山本 輝昭君
波田 政和君	小宮 教義君
齋藤 久光君	初村 久藏君
大浦 孝司君	大部 初幸君
作元 義文君	上野洋次郎君
小川 廣康君	

○3月10日に応招した議員

坂本 充弘君
長郷 泰二君
小島 徳重君
黒田 昭雄君
山本 輝昭君
小宮 教義君
初村 久藏君
大部 初幸君
上野洋次郎君

伊原 徹君
春田 新一君
吉見 優子君
小田 昭人君
波田 政和君
齋藤 久光君
大浦 孝司君
作元 義文君
小川 廣康君

○3月11日に応招した議員

坂本 充弘君
長郷 泰二君
小島 徳重君
渕上 清君
小田 昭人君
波田 政和君
齋藤 久光君
大浦 孝司君
作元 義文君
小川 廣康君

伊原 徹君
春田 新一君
吉見 優子君
黒田 昭雄君
山本 輝昭君
小宮 教義君
初村 久藏君
大部 初幸君
上野洋次郎君

○3月16日に応招した議員

坂本 充弘君
長郷 泰二君
小島 徳重君
渕上 清君
小田 昭人君
波田 政和君
齋藤 久光君
大浦 孝司君
作元 義文君

伊原 徹君
春田 新一君
吉見 優子君
黒田 昭雄君
山本 輝昭君
小宮 教義君
初村 久藏君
大部 初幸君
上野洋次郎君

小川 廣康君

○3月10日に応招しなかった議員

渕上 清君

令和3年 第1回 対馬市議会定例会会議録(第1日)

令和3年2月25日(木曜日)

議事日程(第1号)

令和3年2月25日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議長の諸般報告
- 日程第4 市長の行政報告
- 日程第5 産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第6 長崎県病院企業団議会議員の報告
- 日程第7 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告
- 日程第8 議案第3号 令和2年度対馬市一般会計補正予算(第15号)
- 日程第9 議案第4号 令和2年度対馬市診療所特別会計補正予算(第4号)
- 日程第10 議案第5号 令和2年度対馬市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 日程第11 市長の施政方針説明
- 日程第12 議案第6号 令和3年度対馬市一般会計予算

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議長の諸般報告
- 日程第4 市長の行政報告
- 日程第5 産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告
- 日程第6 長崎県病院企業団議会議員の報告
- 日程第7 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告
- 日程第8 議案第3号 令和2年度対馬市一般会計補正予算(第15号)
- 日程第9 議案第4号 令和2年度対馬市診療所特別会計補正予算(第4号)
- 日程第10 議案第5号 令和2年度対馬市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

日程第11 市長の施政方針説明

日程第12 議案第6号 令和3年度対馬市一般会計予算

出席議員（19名）

1番 坂本 充弘君	2番 伊原 徹君
3番 長郷 泰二君	4番 春田 新一君
5番 小島 徳重君	6番 吉見 優子君
7番 渕上 清君	8番 黒田 昭雄君
9番 小田 昭人君	10番 山本 輝昭君
11番 波田 政和君	12番 小宮 教義君
13番 齋藤 久光君	14番 初村 久藏君
15番 大浦 孝司君	16番 大部 初幸君
17番 作元 義文君	18番 上野洋次郎君
19番 小川 廣康君	

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	阿比留伊勢男君	次長	國分 幸和君
課長補佐	梅野 浩二君	課長補佐	柚谷 智之君

説明のため出席した者の職氏名

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	永留 和博君
総務部長	有江 正光君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	桐谷 和孝君
しまづくり推進部長	武末 祥人君
観光交流商工部長	二宮 照幸君
市民生活部長	乙成 一也君

福祉保険部長	古里 正人君
健康づくり推進部長	松井 恵夫君
農林水産部長	佐々木雅仁君
建設部長	伊賀 敏治君
水道局長	立花 大功君
教育部長	阿比留裕史君
中対馬振興部長	波田 安德君
上対馬振興部長	森山 忠昭君
美津島行政サービスセンター所長	瀧川 昌浩君
峰行政サービスセンター所長	扇 明宏君
上県行政サービスセンター所長	原田 勝彦君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	阿比留 裕君
監査委員事務局長	御手洗逸男君
農業委員会事務局長	庄司 智文君

午前10時00分開会

○議長（小川 廣康君） おはようございます。ただいまから令和3年第1回対馬市議会定例会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、議場の換気のため、出入口を開放して会議を運営することといたします。

定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（小川 廣康君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によって、齋藤久光君及び初村久藏君を指名いたします。

日程第2. 会期の決定

○議長（小川 廣康君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、配付しております会期日程案のとおり、本日から3月16日までの20日とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。会期は、本日から３月１６日までの２０日間に決定をいたしました。

日程第３．議長の諸般報告

○議長（小川 廣康君） 日程第３、議長の諸般報告を行います。

令和２年第４回定例会終了後以降の議長の行動等は、配付しております庶務報告書のとおりであります。

日程第４．市長の行政報告

○議長（小川 廣康君） 日程第４、市長の行政報告を行います。

市長から行政報告の申出がっておりますので、これを許します。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。本日、ここに、令和３年第１回対馬市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御健勝にて御出席賜り、衷心より御礼申し上げます。

初めに、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた「切り札」として期待されておりますワクチン接種についてでございます。

ワクチン接種は、国の指示の下、都道府県の協力により市町村において実施することとなっております。

本市では、希望する市民皆様に迅速かつ適切に接種ができるよう、２月１日付で、いきいき健康課に職員を増員し、関係機関との協議・調整など、鋭意準備を進めており、また、市民皆様からのお問合せ等に対応するコールセンターを開設しております。

国におきましては、医療従事者等への先行・優先接種が今月１７日から開始されておりますが、大量のワクチンは徐々に供給されることとなりますので、一定の接種順位を決めて行われます。

高齢者向け優先接種は、４月１日以降になる見込みであり、今後、市民の皆様へは広報つしま、地区回覧及びホームページ等でお知らせし、加えて、ワクチン接種券をお送りする際に詳しく御案内いたします。

それでは、１２月定例会以降、本日までの主な事項につきまして御報告を申し上げます。

初めに、しまづくり推進部関係でございます。

昨年９月の台風第９号及び第１０号は、本市に接近し、多大の被害をもたらしたところでございますが、復旧に向けた災害支援寄附金を募りましたところ、全国各地の方々から１７６件、３９９万５、０００円の御寄附を頂いております。

御寄附を頂いた方々に改めてお礼申し上げますとともに、頂いた寄附につきましては、台風災害における災害廃棄物処理経費などの一部に活用させていただきたいと思います。

次に、SDG s 推進等に向けた企業との連携協定についてであります。

本市におけるまちづくりやSDG s の推進を図っていく上では、変遷する社会環境等に対応するため、企業における知見やノウハウ等の活用、連携が必要不可欠でございます。

このたび、企業3社との連携協定を締結いたしましたので、御報告いたします。

去る1月25日に、九州電力株式会社福岡支店様と「持続可能なしまづくり（SDG s）に関する包括連携協定」を、今月16日には、KDD I株式会社様との「SDG s 推進に関する包括連携協定」を、昨日24日には、オフィス向け用品などの通信販売を行うアスクル株式会社様と「SDG s 連携協定」を締結いたしました。

今後は、SDG s 推進に向けた取組はもとより、対馬市のしまづくりに向けて、企業と連携した取組を進めてまいります。

また、九州電力送配電株式会社対馬配電事業所様とは、1月15日に「災害復旧に関する協定」も締結しております。

次に、対馬市洋上風力発電ゾーニング導入可能性検討協議会についてでございます。

令和元年度から、長崎県と共同で取組を進めておりました、洋上風力発電ゾーニング導入可能性検討事業につきましては、去る1月26日に開催いたしました第4回対馬市洋上風力発電ゾーニング導入可能性検討協議会において候補エリアを、上県町の西方沖2か所、約43平方キロメートルの海域に決定し、2月8日に開催されました長崎県の協議会において承認されております。

今後は、長崎県が実施するパブリックコメント等の手続を経たうえで、環境省への報告を行い、洋上風力発電事業を推進してまいります。

以上が、行政報告でございます。

本定例会において、御審議願います案件でございますが、令和2年度一般会計等補正予算案件3件、令和3年度一般会計等補正予算案件8件、条例の一部改正11件、第2次対馬市総合計画（後期計画）1件、辺地に係る整備計画1件、あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更2件、港湾区域内公有水面の埋立てについて1件、損害賠償の額の決定1件、権利の放棄1件、人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問1件、合わせて30件の議案について御審議をお願いするものでございます。

内容につきましては、提案の際、担当部長から説明を行いますので、慎重に御審議の上、適正なる御決定を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、コロナ禍において売上げが減少した事業者を対象とする給付金事業のため、本会期中に、

令和3年度一般会計補正予算（第1号）を追加議案として上程する予定としております。併せて御審議くださいますようお願いいたします。

以上、開会に当たっての挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 以上で、行政報告を終わります。

日程第5. 産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告

○議長（小川 廣康君） 日程第5、産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告を行います。
産業建設常任委員長、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） おはようございます。

令和2年第1回対馬市議会定例会において、会議規則第105条第1項の規定により、閉会中の所管事務調査の承認を得ておりました本委員会の調査の内容とその概要を、同規則第110条の規定により報告いたします。

本委員会は、令和2年12月18日午後3時から、対馬博物館において、観光交流商工部から「博物館建設事業の現状と今後について」説明を受け、その後移動し、厳原港国内ターミナルビルにおいて、建設部から「厳原港国内ターミナルの現状と今後について」説明を受けました。

まず、「博物館建設事業の現状と今後について」であります。総事業費39億7,500万円、建築面積3,172平方メートルの事業であります。平常展示室、特別展示室、収蔵庫、事務室などの博物館ゾーンは既に完成し、現在はギャラリー、ミュージアムショップ、講座室などの交流ゾーンの建設が行われており、令和4年春の開館が予定されております。博物館ゾーンは、展示物に配慮した空調、照明等が施され、その展示内容に期待が持たれるところであります。

当日は、既に展示されている「増田山遺跡出土の銅矛のレプリカ」を拝見し、歴史の重みを感じることができました。また、長崎県対馬歴史研究センターの所長にもお越しいただき、同センターが取り組まれています宗家古文書の修復作業についても、作業状況を視察しながら説明を頂くことができました。

本市が誇る数々の歴史的資料を多くの方に見ていただきたく、改めて本市の歴史的な位置づけを全世界にアピールできる日を楽しみにしたいと思います。

一方、博物館の管理は細部にまで気を遣う事柄が多く、その維持管理には多額の経費を要することが予想されます。開館後は、博物館を経営する感覚で常設展示、特別展示、施設のメンテナンス、設備の維持管理には十分なる検討をなされ、市の財政を圧迫することがないように配慮されることを要望いたします。

次に、「厳原港国内ターミナルの現状と今後について」であります。令和2年12月10日に供用開始された国内ターミナルビルは、総事業費17億7,800万円、延べ床面積1,911平

方メートル、ガラス張りの建築物で、エントランスホール、待合ロビー、展望デッキ、吹き抜け等も十分なスペースが確保され、厳原港が一望でき、快適な待合時間を過ごすことができるものと考えます。

また、厳原港は、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として、平成30年8月4日に「みなとオアシス対馬厳原」に登録されました。地域住民、観光客、クルーズ客船等の交流及び休息、地域の観光及び交通に関する情報提供など、地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進する役割も担っており、今後の活用の在り方に期待するものであります。

今後検討していただく事項として、次のことを申し添えます。

1、厳原港には、国内ターミナルビル、今後完成する国際ターミナルビル、厳原合同庁舎、民間事業者のフェリー乗り場等、多くの建築物があり、大型車両も通行します。今後、関係機関と連携され、利用者の視点に立った道路標識及び案内板、建物の標記を再検討されるようお願いいたします。

2、みなとオアシスの意義を十分に検討され、ターミナルビルを中心に市民の方が利活用できる環境整備をお願いいたします。

3、対馬市港湾ターミナルビル条例には、指定管理者に管理を行わせることができる規定がありますが、令和2年第4回定例会では、その意思がない旨の答弁がありました。ターミナルビルの管理体制を早急に明確化されることを望みます。

最後に、平成30年3月改正の「対馬市木材利用行動計画」では、市が整備する新築・増築または改築する公共建築物等における、地元産木材の利用促進に向けた取組目標が記載されていますが、両施設において、本市の木材の利用が皆無であったことが残念でなりません。今後に向けて十分なる検討をなされることを切望いたします。

以上で、産業建設常任委員会の閉会中の所管事務調査報告といたします。

○議長（小川 廣康君） 報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） これで質疑を終わります。

日程第6. 長崎県病院企業団議会議員の報告

○議長（小川 廣康君） 日程第6、長崎県病院企業団議会議員の報告を行います。

9番、小田昭人君。

○議員（9番 小田 昭人君） 長崎県病院企業団議会議員の活動及び審議内容について、次のと

おり報告します。

令和2年12月25日午後1時30分から、長崎県農協会館で開催されました第2回長崎県病院企業団議会定例会について、次のとおり報告します。

なお、対馬市議会からは、山本輝昭議員は欠席で、私、1名の出席であります。

今定例会の議案審議は、事件議案1件、予算議案1件、認定議案1件であります。

事件議案第5号「令和2年度長崎県病院企業団事業会計資本金の額の減少について」は、会計方針の変更に伴い、平成26年度から令和元年度までに資本金として計上していた、建設改良に充てた企業債の元金償還への繰入金について、収益化するために資本金の額を減少させ、長期前受金等に振替を行おうとするものです。

次に、予算議案第6号「令和2年度長崎県病院企業団病院事業会計補正予算（第3号）」は、新型コロナウイルス感染症対策及び建設改良に充てた企業債の元金償還金への繰入金の収益化等に伴う、必要な予算の補正を行おうとするものです。

次に、認定議案第1号「令和元年度長崎県病院企業団病院事業会計決算」の認定について報告します。

病院企業団全体であります。収益合計は287億4,904万2,000円、費用合計は291億9,163万9,000円で、4億4,257万9,000円の純損失となっております。

前年度と比較しますと、医業損益で、収益が13億2,335万3,000円の増、費用は4億3,078万6,000円の増となり、医業損益は8億9,258万5,000円改善しています。

また、医業外損益で、収益が1億5,128万8,000円の減、費用が1億2,184万9,000円の増となり、医業外損益が2億7,316万6,000円悪化しています。

また、当年度の延べ入院患者数は41万4,066人で、前年度に比べ2万988人（5.3%）の増、延べ外来患者数は70万8,852人で、前年度に比べ3,447人（0.5%）の増となっています。病床稼働率は77%で、前年度に比べ3.7ポイントの増となっております。

なお、対馬の2病院であります。対馬病院は、総収益55億5,659万5,000円、総費用60億1,114万8,000円で、当年度純損益は4億5,455万3,000円の純損失となり、特別利益、特別損失を除く経常収支は、3億9,417万6,000円の赤字となっております。

上対馬病院は、総収益9億6,076万1,000円、総費用10億1,963万5,000円で、当年度純損益は5,887万5,000円の純損失となり、特別利益、特別損失を除く経常収支は、4,489万9,000円の赤字となっております。

経営状況であります。対馬病院は病床数275床で、令和元年度の延べ入院患者数は7万8,586人で、前年度に比べ4,993人の増、延べ外来者数は16万2,661人で、前年度

に比べ延べ6,037人の減となっています。病床利用率は78.1%となっています。

上対馬病院は病床数60床で、令和元年度の延べ入院患者数は1万2,802人で、前年度に比べ1,803人の減、延べ外来者数は2万8,712人で、前年度に比べ246人の増となっています。病床稼働率は58.3%となっています。

以上、事件議案1件、予算議案1件、認定議案1件について慎重に審議した結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

なお、議案外の報告事項として、1、令和元年度長崎県病院企業団病院事業会計予算繰越計算書の報告について、2、入札結果報告について、3、新型コロナウイルス感染症対策について、4、令和2年度上半期経営状況について、5、第3次中期経営計画について、6、構成団体負担金の見直しについて、7、郷診郷創の取組状況についての報告がありましたが、詳細については説明を省略させていただきます。

以上、長崎県病院企業団議会議員の報告といたします。

○議長（小川 廣康君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

日程第7. 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告

○議長（小川 廣康君） 日程第7、長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告を行います。

14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告をいたします。

令和3年2月12日、長崎県市町村会館において、令和3年第1回長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会が招集されましたので、議案の審議内容について次のとおり報告いたします。

議案審議に入る前に、議長及び副議長の選挙が議題となり、いずれも指名推選により、議長に長崎市の井上重久議員、副議長に新上五島町の坪井泰助議員が選任されました。

今回は、予算議案4件、権利の放棄議案1件、専決処分の報告及び承認1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも賛成多数により原案のとおり可決されました。

議案審議の内容について報告します。

議案第1号、令和2年度長崎県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ861万2,000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ2億4,461万4,000円とするものであります。

令和元年度決算剰余金を受け入れるとともに、派遣職員人件費負担金と財政調整基金積立金に

ついて補正を必要とするものです。

議案第2号、令和2年度長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ20億8,292万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,247億7,844万3,000円とするものであります。

令和元年度決算剰余金を受け入れ、償還金等を整理する必要があること、特別高額医療費共同事業拠出金に不足が見込まれること等について補正を必要とするものであります。

議案第3号、令和3年度長崎県後期高齢者医療広域連合一般会計予算は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億2,897万3,000円と定めるものであります。

歳入の主なものは、市町負担金、歳出の主なものは、総務費の一般管理費であります。

議案第4号、令和3年度長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,265億163万5,000円と定めるものであります。

歳入の主なものは、国庫支出金、市町支出金及び支払基金交付金、歳出の主なものは、保険給付費であります。

議案第5号、権利の放棄については、平成26年7月29日に実施された保険医療機関に対する九州厚生局個別指導により、誤請求が確認された平成25年度診療報酬区還金4万8,745円について、債務者の自己破産申出により免責許可決定が確定し、自主納付の見込みもないことから債権回収不能と判断し、当該金銭債権を放棄しようとするものです。

報告第1号、専決処分の報告及び承認を求めることについては、高齢者の医療の確保に関する法律施行令の改正に伴い、令和3年度以降の保険料の均等割額軽減判定に係る基準を見直す必要があるほか、所要の整備をするため、長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について、専決処分したので、報告し承認を求めるものであります。

最後に、任期満了となる議会運営委員について、議長指名により新たに8名の議員が選任されました。

さらに追加議案として、同意議案第1号、監査委員の選任につき議会の同意を求めることについてが議題とされ、広域連合議員のうちから選任した監査委員の退職により、その後任として東彼杵町の吉永秀俊議員が選任されました。

以上で、長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の報告といたします。

○議長（小川 廣康君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第8. 議案第3号

○議長（小川 廣康君） 日程第8、議案第3号、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第15号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） ただいま議題となりました議案第3号、令和2年度対馬市一般会計補正予算（第15号）について、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

今回の補正は、国の第3次補正に伴う漁港整備事業や市道改良事業などの追加と、各種事業の実績などによります調整が主なものでございます。

予算書の3ページをお願いします。

令和2年度対馬市一般会計補正予算（第15号）は、次に定めるところによることを規定し、第1条第1項、歳入歳出予算の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,044万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ363億9,077万7,000円とするものでございます。

第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから6ページにかけての「第1表歳入歳出予算補正」によるとするものでございます。

第2条、継続費の補正は、継続費の変更を8ページ、9ページの「第2表継続費補正」によるものとし、厳原港国内ターミナル建設事業の完了に伴う事業費の総額及び年割額を変更するものでございます。

第3条、繰越明許費の補正は、繰越明許費の追加を8ページから13ページにかけての「第3表繰越明許費補正」によるものとし、繰越明許費に73件、28億4,803万7,000円を追加するものでございます。

なお、繰越明許費につきましては、別途繰越理由一覧表をタブレットに掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

第4条、地方債の補正は、地方債の追加及び変更を12ページから13ページの「第4表地方債補正」によるものとし、地方債の限度額を39億5,100万円とするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について、その主なものを御説明します。

18ページをお願いいたします。

まず、歳入ですが、11款、地方交付税は、普通交付税を519万2,000円追加しております。

14款使用料及び手数料は、国際ターミナルの使用料4,484万1,000円の減額が主なも

のでございます。

15款国庫支出金1項国庫負担金では、それぞれ事業の実績見込みなどにより1目民生費国庫負担金は723万4,000円を減額。

20ページに移ります。

4目災害復旧費国庫負担金は2,160万円を減額しております。

2項国庫補助金は、国の補正予算に伴う漁港整備事業補助金、道路橋りょう整備に係る社会資本整備総合交付金や、学校施設環境改善交付金の追加及び事業の実績などによる増減により1億239万9,000円の増額となっております。

22ページをお願いいたします。

16款県支出金1項県負担金でございますが、保険基盤安定負担金や施設型給付費負担金の追加などにより375万9,000円の増額となっております。

2項県補助金は、国の補正予算に伴う漁港整備事業補助金の追加及び事業実績見込みによる増減などにより、9,444万円の減額となっております。

24ページをお願いいたします。

18款寄附金でございますが、ふるさと納税寄附金の追加が主なものでございます。

26ページをお願いいたします。

19款繰入金は、財源調整によります財政調整基金繰入金1億7,000万円の減、がんばれ国境の島対馬ふるさと応援基金繰入金6,675万5,000円の減が主なものでございます。

21款諸収入5項雑入は、退職手当旧負担金制度差額調整金の追加と、長崎県病院企業団返還金の計上が主なものでございます。

22款市債は、国の補正に伴う漁港整備事業、道路橋りょう、トンネル整備事業、教育施設改修事業に係る市債の追加や、事業実績見込みによる増減及び減収補てん債の計上により、1億1,400万円の増額となっております。

続きまして、歳出について御説明いたします。

なお、歳出につきましては、国の補正予算に係る事業につきまして、別途参照資料をタブレットに掲載しておりますので、後ほど御参照ください。

30ページをお願いいたします。

2款総務費1項総務管理費は、創業等支援事業補助金1,990万1,000円の減、離島航路・航空路緊急支援負担金1,900万円の計上、地方バス路線維持費補助金1,098万8,000円の増のほか、事業実施見込みによる増減により1,383万5,000円の減額となっております。

32ページをお願いいたします。

3項戸籍住民基本台帳費は、個人番号カード事務負担金700万円の減額でございます。

3款民生費1項社会福祉費でございますが、1目社会福祉総務費は、自立支援給付費などの扶助費7,720万5,000円の追加。

34ページをお願いいたします。

5目老人福祉費は、後期高齢者医療広域連合負担金1,206万2,000円の追加が主なものでございます。

2項児童福祉費は、子ども夢づくり基金積立金1億円の追加や、児童手当等の扶助費の減額などを合わせまして5,394万円の増額となっております。

34ページをお願いします。

4款衛生費1項保健衛生費は、県病院企業団負担金700万5,000円の追加。

診療所特別会計繰出金617万1,000円の減額が主なものでございます。

36ページをお願いいたします。

2項清掃費は、海岸漂着物等地域対策推進業務委託料5,216万5,000円の減額が主なものでございます。

6款農林水産業費1項農業費は、3目農業振興費の鳥獣対策総合支援業務委託料200万円の減、農業次世代人材投資資金315万4,000円の減が主なものでございます。

2項林業費は、森林環境譲与税活用事業補助金510万円の減、離島輸送コスト助成事業補助金528万5,000円の追加、有害鳥獣捕獲支援事業補助金670万円の減。

38ページをお願いいたします。

森林環境譲与税活用基金積立金510万1,000円の追加が主なものでございます。

3項水産業費でございますが、2目水産業振興費は、活魚・鮮魚等輸送コスト助成事業補助金など、各補助金の実績見込みにより7,384万6,000円を減額し、4目漁港建設費は、国の補正に伴う事業費の追加などによりまして1億1,675万7,000円の増額となっております。

7款商工費は、40ページをお願いします。

対馬市中小企業制度融資資金貸付金5,000万円の減、観光施設整備工事5,932万2,000円の減額が主なものでございます。

8款土木費2項道路橋りょう費は、国の補正に伴う事業費の追加などによりまして、1億4,396万8,000円の増額となっております。

42ページをお願いいたします。

3項河川費は、急傾斜地崩壊対策事業負担金500万円の追加のほか、事業費の組替えでございます。4項港湾費は、国際ターミナル使用料徴収委託料などの減額や厳原港国内ターミナル建設事業費の減額が主なものでございます。5項都市計画費は、まちづくり交付金事業の減額が主

なものでございます。

44ページをお願いいたします。

9款消防費は、操法大会中止に伴う対馬市分会補助金の減や消防団拠点施設建設事業費の減額が主なものでございます。

10款教育費1項教育総務費は、離島留学生ホームステイ補助金604万円の減、教育施設整備基金積立金1億4,000円の追加が主なものでございます。

46ページをお願いいたします。

2項小学校費、3項中学校費は、国の補正に伴う学校トイレ洋式化事業費の追加などによりまして、それぞれ増額となっております。

48ページをお願いします。

11款災害復旧費は、1項農林水産施設災害復旧費から50ページの4項その他の災害復旧費まで、事業実績見込みなどによる減額が主なものでございます。

50ページをお願いいたします。

12款公債費は、利率見直しによる元金120万2,000円の追加と借入利率の決定などによる利子の減額でございます。

なお、52ページから55ページにかけまして、補正予算給与費明細書を添えてございますので、御参照方よろしく申し上げます。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明を終わります。御審議の上、御決定賜りますようお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） 確認をします。31ページをお願いします。

歳出の中で、企画費の負担金の離島航路・航空路緊急支援負担金1,900万円計上されておりますが、これはこれでよろしいんですが、近年コロナの影響と九州郵船の船のドック入り等で航路ダイヤがかなり乱れております。見ますと、3月、ジェットフォイルが1便しか対馬から福岡に行かない。これはドックの関係があらうかと思いますが、その時間が何と、午後3時出発、着くのが午後6時。航路対策協議会がもうあらうかと思いますが、こういった時間については、九州郵船ないしその関係協議会との調整はどのようになされているのか。負担金を出す以上、あまりにもこの過酷なジェットフォイルダイヤじゃないかと感じておりますが、説明をお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） 長郷議員の質問に対してお答えいたします。

ジェットフォイルの1便についてですが、今の1便体制はドックではなくてコロナの影響で、経営状況が悪いということで1便体制で運航いたしております。その1便についても、壱岐のほうと調整がありますので、当然うちのほうとしてもいろいろ申入れはしますけども、その調整中での時間となっております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） その説明ちょっと理解しづらいですね。

市民の方の状況を見ると、それだけで片づけられるのはとても寂しい気がします。

3時ですよ。フェリーで行っても、福岡の通院が多いんですが、なかなかそのフェリーでも通院できない、ましてジェットフォイルのその時間帯だと、わずかな時間といえども行けない。こういった状況が今続くわけですね。確かに乗客数が少ない、そこら辺でいろいろ運航される会社も大変だとは思いますが、離島航路がこういう状況で、はい、そうですかと簡単に引き下がったとは思いませんが、もう少し具体的な対応、要求をどのようにしてきたのか、せめてそのくらいの説明は欲しいんですが、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） どのような申入れをされたかという御質問ですが、確かに時間帯につきましては、私たちも見させていただいたときに、これじゃ厳しいなということをお願いしますが、民間企業でございまして、経営、それを第一に考えてされていることと思います。壱岐市との調整、そういった面もありまして、なかなか対馬はこれというふうな言えるような状況ではありませんでしたので、提案されたので仕方ないですねといった状況でございます。

以上となります。

○議長（小川 廣康君） 3番、長郷泰二君。

○議員（3番 長郷 泰二君） まあ、当然としてはそういう形になろうかと推測はしますが、あまりにも情けない。

負担金出してるので、その率はどう算定されているか知る由はありませんが、同じ航路大変でしょうから、負担金をもって運営してくださいというような性質もあろうかと思うんですよね。民間企業がやられるから、行政としてはそれ以上口出せないというようなことでは、いかなものかと考えます。もし仮に、今短期間の予定ですが、これが長期化するということになると、果たして負担金を今までどおり、はい、そうですかと支出すべきかどうかという疑問が起こりますが、市長、見解をお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今、部長のほうからの説明をいたしましたとおり、社長自ら市のほうに
おいでになって、時間帯変更のお願いに参られました。その際に、このジェットフォイルの輸送
賃金等の集計表を持ってこられましたけども、特に1月の21日から1月の25日までは、あの
約200人ちょっと乗るジェットフォイルでございますけども、お客さんが9名しか乗ってない
というようなことで、大変ちょっと運航するに当たって、非常に運送する会社としても大変であ
ると。その上で、確かに今、議員おっしゃられるように、市民の皆様が3時にこちらを出港とい
うことになると、福岡に着くのが大変遅くなりますので、不便を講じることになるということで、
私たちもこのことにつきましては苦慮しておりますけども、このことが一日も早く改善できるこ
とを祈りながら待ちたいと思っております。

幸いに、今、観光商工部関係のほうからの報告が上がっておりますけども、今この3月からは、
かなりの観光客等の予約が入ってきている状況であるというような報告も受けておりますので、
ここら辺も含めて一日も早くこの時間帯の改善ができるように、再度また九州郵船等には働きか
けをしてまいりたいというふうに思います。

以上です。

○議長（小川 廣康君） ほかにありませんか。15番、大浦孝司君。

○議員（15番 大浦 孝司君） 41ページ、道路改良であります、ちょっと市長のほうに確
認をいたしたいと思います。

一番下の西津屋線の道路改良工事、まあ追加ということで（「大浦議員さんちょっと質問途中
ですが、これあのおたくの産建に付託をする案件ですが、委員会で審査できないですか」と呼ぶ
者あり）私、市長の確認を取ろうと思って、そういうことなんですが。（「はい、どうぞ」と呼
ぶ者あり）そのことは存じております。（「はい」と呼ぶ者あり）

この路線については、今年度4月ごろからトンネルから先の継続工事を中断し、鉄柱も全部撤
収して、将来的にこれを継続して工事をするかという問題が不安視されておりました。それで私、
担当のほうに今後の展望を聞きに参ったんですが、その時点で尾浦以降の浅藻のトンネルの大き
な工事が今後予測される中で、非常に財政の圧迫も、市の内部ではそういうふうな見解をしてお
ると。それで、この路線の施工方針を見直すんだというふうなことは、担当レベルからお聞きし
ました。その後、いろいろ一般質問等も私確認取ったわけですが、最終的には、集落の代表のお
願い等が市にあって、基本どおりその先の2車線の確保はやっていく方向として、私もお話を聞
いたところですが、最終的なことを市長に今日は聞いてみようと思っておりました。

以上であります。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員おっしゃられるように、地域の方々が直接要望にも参られて、私も

いろいろと状況を確認したところであります。その際、私たちといたしましては、道路の線形を若干変更をしながら、一部区間については7メートルの幅員を取るとかなり山を切り込まなくてはならないというような状況でありましたので、ここら辺の変更を一部区間5メートルでは駄目でしょうかというような話もいたしましたけども、地域としては、7メートルでどうしてもお願いをしたいというようなことでありましたので、一部線形の変更はいたしますけども、山切りのほう若干少なくすると同時に、線形を扱って、今の7メートルの計画で継続をしていくということと進んでおります。

以上です。（「終わります」と呼ぶ者あり）

○議長（小川 廣康君） できましたら、所管以外のものにとどめていただきたいと思います、12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） 3番議員の関連で九州郵船の話ですけども、参考資料の1ページには、先ほどの補助関係のお金があるんですが、九州郵船に県が1億5,110万円、そして市が1,500万円と、トータルで1億6,610万円というすごいお金を税金で九州郵船に払うわけですけども、その件について3点からお尋ねしたいと思います。

このような補助金について、九州郵船のほうからどのような形での要望があったのかということですね。

それと、九州郵船は、皆さん御存じのように、もう100年以上続く非常に優秀な企業です。多分このような企業ですから、内部留保金といいますか、金利剰余金、今までもうけてお金を積んどると思うんですが、かなりの金額を積んでいると思うんですけども、この利益剰余金がどのくらいあるのかということですね。

それと、これは県と対馬しかないんですけども、隣の壱岐にはこの負担はないのか、同じ航路ですから。

という点ともう一点、先ほどの優秀な企業ですから、役員が何人ほどおられるのか、それを先にお尋ねいたします。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） 小宮議員の質問にお答えいたします。

まず、最初の九州郵船から申入れがあったのかということでございますが、この支援につきましては、県の補助がありますように、県のほうから航路事業者に対する支援を行いたいと。九州郵船だけじゃなくて、九州商船、五島も含めたですね。そういう申入れがございました。それに各市も同調してもらえないだろうかという申入れがあって、その中で壱岐、五島、対馬の3市で協調して支援をしていこうということで行っております。

次の内部留保金でございますが、繰越利益剰余金のことでよろしいのでしょうか。昨年末の決

算2020年3月決算での剰余金は公表されておりますが、この場での対馬市からの報告は差し控えさせていただければと思っております。

次の壱岐に負担金はないのかということですが、先ほど申しましたように、3市で協調して支援をしていくということで、同じ額ということで協調しております。

次に、役員は何人いるのかという問いですが、代表取締役社長1名、取締役4名、監査役1名でございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） 九州郵船からは直接の要望はなかったわけですね。県からの要望ということですね。直接なかったということですね。

それと、壱岐も同じように負担をするということなんですね、対馬だけじゃなくて、同じような金額で負担をするということですね。はい、分かりました。

それとこの利益剰余金ですけども、このような会社ですから、当然国からも補助金頂いてますよ。ということは、何らかの形で公表するように会社法というのがありまして、その法律の中で必ず公表しなさいというようになっております。そして、九州郵船は、どのような形で公表するかというと、官報に載せます。この官報に載つとる令和2年3月31日の決算書ですよ。それによると、この利益剰余金、今までためたお金、もうけたお金、これが15億7,000万円もあるんですよ。15億7,000万円。これだけの内部留保あるんだから、この1億6,000万円は払う必要ないんじゃないですかね。これだけの内部留保あるんだから。

それと、役員が約6名ですか、監査まで入れて。そして、このように税金を相手に渡すんだから、やはり相手もある程度の痛みを伴わなければいけないと思いますよ。この役員、給料のカットはあったのか。当然ボーナスなんて100%カットだと思うけども、どのような体制になっておるのか、この役員について。職員は生活がありますから、役員のこの給与体制、これはどのようにしておるのか、またお尋ねします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） そのことについて、私のほうからちょっとお答えをさせていただければと思いますが、先ほど部長も申し上げましたように、九州郵船の財務関係は、おっしゃられるように、貸借対照表として公表はされております。議員のおっしゃるとおりでございます。

そういう中で今回、県と協調しながら助成をするわけでございますけども、まずは九州郵船としても確かに内部留保は幾らかあります。しかしながら、こういうふうな急激なお客さんの減少によりまして、会社としてもかなりのダメージを受けているというようなことで、県を中心として助成を行う。そしてまた、対馬市と壱岐市は県の10分の1ということで助成を行おうと。五

島についても一緒でございます。やはり五島のほうは、今度は九州商船でございますけども、九州商船のほうで県の負担分の10分の1を支払うというようなことで、このことは壱岐、対馬、五島の3市の首長で協議をいたしまして、何とかここは島民の足を担う重要な輸送機関であるというようなことから、そのような対応をさせていただこうということで決定をいたしております。

それと、九州郵船の役員の報酬とか給与等の引下げはどうかということでございますが、このことにつきましては、令和2年度は賞与の支給率を引き下げているということでありまして、役員報酬については、令和3年度から引き下げるというようなことを聞いております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 12番、小宮教義君。

○議員（12番 小宮 教義君） 九州郵船から直接市のほうに御相談があれば別としても、相談もないのに、向こうの要望もないのに、私は払う必要ないと思いますけどね。それと、先ほど役員の報酬については、3年度は減給とかそういうような形でやるということですよ。役員については、やはりこの3年度のボーナスは100%カット、それと給与については40%カット、そのくらいの勢いでやってもらわないかんと思います、お金払うんだから。そういう要望を市長のほうから九州郵船のほうに強く言っていただきたい。

以上です。

○議長（小川 廣康君） ほかにありませんか。17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） 1点だけ市長に確認をしたいと思うんですが、国境離島活性化推進特別委員会の関係でお尋ねをしたいんですがね。今までだったらジェットフォイルの更新という話を我々委員会でもずっとやってきておりますけれども、運航の時間帯については先ほど質問がありました。これからジェットフォイルも30年以上たってくる更新について、九州郵船の社長のほうから市長に対して何か話がありましたか。その1点だけちょっと確認をしたいと。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 正式なことじゃなくて、今このような状況であるというようなことでの話でございますけども、要は確かにJR九州高速船のほうのジェットフォイルのほう売りにも出ているような状況であると。そしてまた、九州郵船のほうとしては、今2隻体制でありますけれども、ドック等のときの体制のためにはやはり、理想的には3隻体制が望ましいというようなことを考えているというようなことで、どうにかしてジェットフォイルを購入したいというお話までは聞いております。

そういうことでもありまして、先ほどの小宮議員の御質問の中でも、お答えし忘れておりましたけれども、要はやはり九州郵船といたしましても、今後はジェットフォイルの新船購入に対する、そういった内部留保も必要になってくるのではないかなというようなことも、併せて理解をし

ていただきたいというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） 大体事情は分かるんですけども、我々の委員会としても、このコロナの中で、お客さんが非常に少ない状況の中で無理なことも言われませんのでね。まあこう、じっと我慢して見ているような状況ですけども、市としてもやはりこれから、我々委員会もそうですけども、ジェットフォイルの更新はやはり避けて通れない道だというふうに判断しておりますから、川崎重工の建造の面も含めてぜひそういった話をまた市長としても、機会があればそういう話をしてください。よろしくお願いします。

○議長（小川 廣康君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

本件は配付しております議案審査付託表のとおり、各常任委員会に付託をいたします。

暫時休憩します。再開を、ちょっと短いですが、11時25分からいたします。

午前11時12分休憩

午前11時24分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

----- . ----- . -----
日程第9. 議案第4号

日程第10. 議案第5号

○議長（小川 廣康君） 日程第9、議案第4号、令和2年度対馬市診療所特別会計補正予算（第4号）及び日程第10、議案第5号、令和2年度対馬市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の2件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） ただいま一括議題となりました議案のうち、議案第4号、令和2年度対馬市診療所特別会計補正予算（第4号）につきまして、その提案理由を御説明いたします。

今回の補正予算は、長崎県へき地医療対策費補助金の追加、令和元年度診療実績による県補助金精算返還金が主なものでございます。

予算書の3ページをお願いいたします。

令和2年度対馬市診療所特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによることを規定し、第1条第1項、歳入歳出予算の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ207万

9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億6,157万1,000円とするものでございます。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表歳入歳出予算補正」によるとするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容につきまして御説明申し上げます。

まず、歳入でございますが、予算書は8ページをお願いいたします。

3款県支出金は、へき地医療対策費補助金を825万円追加、4款繰入金1項他会計繰入金は、一般会計からの繰入金を617万1,000円減額しております。

次に、歳出について御説明させていただきます。

1款総務費1項施設管理費1目一般管理費13節委託料は、実績見込みにより清掃、管理及び医療機器保守点検料を53万7,000円減額、23節償還金、利子及び割引料は、令和元年度診療実績に伴う長崎県へき地医療対策費補助金返還金261万6,000円でございます。

以上で、提案理由の説明を終わります。よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 福祉保険部長、古里正人君。

○福祉保険部長（古里 正人君） ただいま一括議題となりました議案第5号につきましては、福祉保険部所管の議案でございますので、その提案理由と内容につきまして御説明申し上げます。

議案第5号、令和2年度対馬市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）でございますが、今回の補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症の影響による減免措置による歳入の増減、歳出においては、保険給付費の増額でございます。

補正予算書の3ページを御覧願います。

令和2年度対馬市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによることを規定し、歳入歳出予算の補正は、第1条第1項で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,797万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ46億5,395万7,000円とするものでございます。第2項で、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表歳入歳出予算補正」によるとするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内訳につきまして御説明申し上げます。

まず、歳入の主なものでございますが、8ページから9ページを御覧願います。

国民健康保険税減免申請見込み減により、1款国民健康保険税1目一般被保険者国民健康保険税は2億1,868万8,000円を追加、3款国庫支出金4目災害等臨時特例補助金は、国民健康保険税の減免額の10分の6に相当する1億2,915万4,000円を減額、4款県支出金特

別調整交付金は、国民健康保険税減免額の10分の4に相当する8,506万7,000円を、過年度還付金2,902万3,000円をそれぞれ減額いたしました。また、普通保険給付費等交付金の決定により8,593万円の追加を行っております。

6款繰入金は、保険基盤安定化事業の交付決定による増額、10ページから11ページを御覧願います。財政安定化支援事業の決定による減額でございます。

8款諸収入は、一般被保険者第三者納付金を計上いたしております。

次に、歳出について主なものを御説明申し上げます。

12ページから13ページを御覧願います。

1款総務費2項徴税費は、令和元年度国民健康保険税減免に係る過年度還付金などの減額でございます。

2款保険給付費1項療養諸費及び2項高額療養費は、見込額の増加による追加でございます。

3款国民健康保険事業費納付金は、各項それぞれ財源内訳の変更でございます。

14ページから15ページをお願いいたします。

6款基金積立金は、財政調整基金の利子の追加による増額でございます。

以上、簡単ではございますが、議案第5号の提案理由の説明とさせていただきます。御審議の上、御決定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 説明が終わりました。

これから2件に対する一括質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいま一括議題としております2件については、委員会への付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。2件につきましては委員会への付託を省略することに決定しました。

これから各案ごとに討論、採決を行います。

まず、議案第4号、令和2年度対馬市診療所特別会計補正予算（第4号）について討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 討論なしと認め、採決します。

本件は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

次に、議案第5号、令和2年度対馬市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 討論なしと認め、採決します。

本件は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第11. 市長の施政方針説明

○議長（小川 廣康君） 日程第11、市長の施政方針説明を行います。

市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 令和3年度一般会計及び特別会計予算の御審議をお願いするに当たりまして、予算編成方針とその概要を御説明申し上げます。

昨年は、人類にとりまして、未知の感染症との闘いの1年でありました。経済のグローバル化と相まった高速移動の進展により、パンデミックを引き起こし、日本の端の対馬においても、観光・飲食産業を中心に甚大なる経済的打撃を受け、日常の市民生活、そして教育現場においても様々な制約を強いられました。

本年度中に、希望する全ての国民へのワクチン接種が完了するのか、まだまだ不透明な状況にあります。ウィズコロナ時代がスタートしたその中にあって、島の経済の再生と安心・安全な日々の暮らしを取り戻さなければなりません。

ウイルスの出現には、急激な生態系の変化が少なからず影響を及ぼしているという見解もあります。SDGsという世界的な潮流の中において、本市が抱える重要課題である海ごみをターゲットに、循環経済を生み出すことを目標に掲げ、昨年の7月にSDGs未来都市の選定を受けたところでございます。

持続可能なしまづくり実現のために、無駄をなくし、資源を生かし、そのパートナーとして様々な分野の民間企業との連携を強化し、その卓越した技術やノウハウを提供いただきながら、SDGs関連施策の積極的な取組を進めます。

また、近年の気候変動の影響により、気象災害は激甚化・頻発化し、本市においても毎年のように大きな災害が発生しています。加えて、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が深刻で、本市も例外ではなく、今後、適切な対応が必要となります。

このことから、政府においては、「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」の方

針が示されたところであり、国の財政支援を活用しながら、効果的な財源投入を行い、計画的な整備に取り組んでまいります。

さらに、市民の思いも詰め込まれた対馬市総合計画後期計画のスタート年度となります。着実にスピード感を持って市民の夢や希望を実現するため邁進してまいります。

国の令和3年度予算（案）は、令和2年度第3次補正予算と合わせ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている国民の命と生活を守るため、感染拡大防止に万全を期すとともに、将来を切り開くため、中長期的な課題を見据えて着実に対応を進めていく予算とされ、感染症危機管理体制や保健所体制の整備等とともに、予期せぬ状況変化の備えとして、5兆円の新型コロナウイルス感染症対策予備費が措置されているほか、デジタル社会・グリーン社会の実現や、全世代型社会保障の構築などにも対応するものとされております。

また、地方財政については、国税及び地方税の落ち込みに対し、地方の一般財源総額を適切に確保し、地方に最大限配慮することとされております。

新型コロナウイルス感染症につきましては、いまだ先の見えない状況ではありますが、本市の令和3年度予算編成に当たりましては、政府予算の基本的な考え方や地方財政収支見通しの概要等を考慮しつつ、対馬市独自の施策を限られた財源の中で、可能な限り計上したところであります。

その結果、令和3年度の予算規模は、一般会計と6つの特別会計を合わせて、総額402億6,031万4,000円であります。

また、地方公営企業法の適用を受けます水道事業会計は、収益的収入11億2,660万5,000円、収益的支出9億8,312万8,000円、資本的収入3億890万7,000円、資本的支出6億7,047万2,000円としております。

一般会計につきましては、令和2年度予算と比較いたしまして、プラス0.8%の307億8,800万円としております。

なお、令和2年度予算につきましては、市長選挙の関係から当初予算を骨格予算として編成しておりますので、選挙後に議決いただきました6月補正予算後の予算のうち、新型コロナウイルス感染症対策事業費として計上した部分を控除した額を、令和3年度当初予算との比較対象としております。これ以降の説明におきましても、前年度との比較につきましては同様とさせていただきます。

歳入予算の主な内容といたしまして、市税は、新型コロナウイルス感染症の影響や固定資産の評価替え等により、対前年度比マイナス5.4%を見込んでおります。

地方交付税につきましては、地方財政計画における総額が対前年度比8,503億円、5.1%のプラスとなっておりますが、その配分や算定方法等が未確定であることを考慮して、対前年度

比プラス0.7%での計上としております。

また、財政調整基金、減債基金、合併振興基金などから約22億6,000万円を繰り入れるほか、財源補填のある辺地対策事業債、過疎対策事業債、臨時財政対策債などを主に、約33億1,000万円の市債を計上し、予算を編成いたしました。

次に、歳出予算について、性質別にその概要を御説明いたします。

人件費では、職員数の減により職員給与費が減少しておりますが、令和3年度は市議会議員選挙、県知事選挙、衆議院議員総選挙が予定されておりますので、そういった増要因と合わせまして、対前年度比マイナス0.3%となる約47億8,000万円を計上しております。

物件費では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費のほか、令和3年度執行予定の3つの選挙、観光客誘客のための事業や脱炭素化ビジネス促進事業の増、小学校におけるタブレット端末導入拡大による通信運搬費の増等により、対前年度比プラス8.8%となる約57億6,000万円を計上しております。

維持補修費では、市民の要望に対し機動的に対応できるよう、市道、農林道、河川などの補修工事費等約2億2,000万円を計上しております。

扶助費では、障害者自立支援事業費や生活保護費の増等により、対前年度比プラス2.4%となる約35億8,000万円を計上しております。

補助費等では、県と共同で実施します離島への旅行商品造成事業等の負担金の増や森林環境譲与税活用事業補助金、離島漁業再生支援交付金の増等により、対前年度比プラス6.1%の約50億2,000万円を計上しております。

公債費では、元利償還金合計約47億1,000万円を計上しております。

普通建設事業費では、市道及び漁港・漁場整備など約46億8,000万円を計上しております。建設事業費の増加は、公債費の増加に連動するため、財政の健全性保持を念頭に置いて、産業基盤対策、生活基盤対策事業等を重点的に推進しているところであります。

また、近年多発する大規模な自然災害の復旧などに即時対応できるよう、予備費として6,000万円を計上しております。

次に、令和3年度の主な取組について、第2次対馬市総合計画に掲げる将来像に向けた「4つの挑戦」ごとに御説明いたします。

1つ目の挑戦は、「若者を中心に対馬がにぎわっている」、「未来を創る子どもたちに対馬愛が育まれている」、「大人たちが対馬に誇りを持っている」という将来像「みんなが主役になる希望の島」を目指しての「ひとづくり」でございます。

若者が移住・定住したくなる島づくりを目指すため、移住者に対する引っ越し経費、住宅家賃や奨学金の返還支援のほか、島内での婚活支援、結婚新生活支援、リモートワーク推進のための

環境整備支援、島おこし協働隊制度の継続と展開、交流イベントや地域の祭りの継続支援などに係る事業を実施します。

対馬らしい働き方や生きがい創出のため、コミュニティ活動や地域づくりへの支援、障がい者の社会参画支援、老人クラブ活動への支援、シルバー人材センター運営支援などに係る事業を実施します。

安心して子どもを育てることができ、対馬を愛する心豊かな子どもを育み、親子が豊かな経験ができる子育て環境をつくるため、安心出産支援、不妊・不育治療費助成、子育て世代包括支援センターの設置、ひとり親家庭への支援、ファミリーサポートセンターの設置、島っこ留学・離島留学生の受入れ、放課後子ども教室、島内3高校の魅力化支援、地域の特徴を生かした総合的学習、学校給食への地元産の食材提供の拡大、子ども夢づくり基金による小中学生の活動支援、教育支援センターの運営などに係る事業実施のほか、新たな認定こども園の整備を進めます。

SDG sの推進を担う島づくり人材を育成し、対馬が直面する課題解決に向けた取組を推進するとともに、交流人口拡大を目指し、域学連携の取組成果をベースに、対馬グローバル大学や対馬学フォーラムの開催、対馬SDG s実践塾の開催、対馬SDG s研究奨励などに係る事業実施のほか、大学及び企業との自動運転などの共同研究を進めます。

対馬の歴史や伝統文化を保全し、市民が対馬の魅力に誇りを持ち、様々な行事や交流等の生涯学習の機会を増やすため、博物館等での展示会、公民館講座、対馬の歴史・文化・伝統の伝承に関する取組への支援などに係る事業実施のほか、昨年11月に公式アカウントを開設しましたLINE等のSNSや本年4月からリニューアル予定の対馬市ホームページを活用して、行政情報提供の充実に努めます。

2つ目の挑戦は、「一次産業が持続可能な形で続けられる」、「観光産業等で地域経済が活性化している」、「新産業が作られ、雇用も多く確保できている」という将来像「地域経済が潤い続ける島」を目指しての「なりわいづくり」でございします。

持続可能な農林業の推進のため、耕作放棄地の有効活用の推進、経営の安定や規模拡大のための支援、農産物や木材の輸送コスト助成、対州そばや原木しいたけ生産者への支援、高性能林業機械導入支援、農林業の担い手確保対策、有害鳥獣対策、森林環境譲与税の活用、林道整備などに係る事業を実施します。

持続可能な水産業の推進のため、離島漁業再生支援交付金事業、燃油高騰対策や鮮魚・活魚等の輸送コスト助成による漁業者の経営改善支援、漁業後継者育成支援、食害魚等の有効活用のための調査研究、漁港・漁場整備などに係る事業を実施します。

持続可能な観光業の推進のため、「福岡事務所」及び「よりあい処つしま」等を活用した積極的な国境のしま対馬の発信、自然・文化・歴史等の地域資源を活用した体験メニューや旅行商品

の開発、インバウンド誘致に係る事業実施のほか、神話の里、三宇田浜園地、鰐浦園地等のリニューアル、金田城のAR・VR復元や史跡入り口付近へのトイレ設置などを実施いたします。

持続可能な流通体制の構築、新たな産業の創出や持続可能な企業経営のため、特産品の開発支援、ふるさと納税返礼品の取扱品目の拡大、地域商社を中心とした対馬産品の加工商品開発や販売促進の支援、島外で開催される物産展等のPRイベントへの参加助成、各種イベントと連動した対馬産品のPR、創業・事業拡大への支援、企業誘致、廃校を活用した新規事業に対する支援、商工業者の生産性向上設備の導入等に対する支援などに係る事業を実施します。

3つ目の挑戦は、「地域主導の活動が進められている」、「福祉・医療体制が維持され、安心して暮らせる」、「暮らしのライフラインが維持されている」という将来像「支え合いで自立した島」を目指しての「つながりづくり」でございます。

国境の島である対馬において、人のつながりによって得られる文化・自然・歴史・地域の豊かさを追求した、対馬らしい持続可能な島づくりを目指して、国内外の多様な主体が交流・連携する仕組みや機会をつくるため、国境マラソン大会、国境サイクリング大会、日韓市民ビーチクリーンアップ、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流大会等のイベント実施や小中学生を対象とした市内でのホームステイ等による多文化体験事業などを実施します。

高齢化が進む中で、全ての市民が生き生きと健康に、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、各種検診の実施や啓発のための情報発信、地域の組織・団体による健康づくり活動や講習会の各種支援や高齢者の買い物支援、各種相談体制の充実などに係る事業を実施します。

生活インフラの維持と安全・安心なまちづくり、島内外の交通システムの利便性向上のため、道路・トンネル・橋りょうの定期的な点検、長寿命化や改良整備、消防団施設の更新、地域主体の防災・災害対策、路線バス維持の支援、コミュニティバスの運営支援、スクールバスの一般混乗の拡大、航空路・航路の路線維持などに係る事業を実施します。

4つ目の挑戦は、「豊かな自然環境が回復している」、「環境に負荷をかけない暮らしをしている」、「地域の資源をうまく活用している」という将来像「自然と暮らしが共存する島」を目指しての「ふるさとづくり」でございます。

里地里山の多様な生物との共生、海洋環境の保護により、豊かな自然の恵みを持続可能な形で享受できる地域づくりのため、国内希少野生動植物種であるツシマヤマネコ、ツシマウラボシシジミの保護対策、特定外来種ツマアカスズメバチ駆除対策、森林再生活動、生物多様性保全や環境配慮型の農業への取組支援、磯焼け対策などに係る事業を実施します。

ごみの削減とリサイクル推進のため、漂流・漂着ごみの発生抑制対策、発泡スチロール等の漂着ごみのペレット化による処分費の抑制やその利活用の検討、生ごみの分別と回収率向上対策、

合併浄化槽の設置推進などに係る事業を実施します。

気候変動対策に貢献する環境負荷の低いエネルギーの地産地消を目指して、木質バイオマスの島内利用の推進、洋上風力発電の導入に向けた調査・実証実験に係る事業を実施します。

対馬を代表する歴史文化遺産を保存し、その価値を後世に継承していくため、対馬藩関連遺産群保存活用計画の策定、越高遺跡、お船江跡などの保存整備、宗家文庫史料等の保存・研究、対馬の盆踊り保存活動への支援、対州馬の保存活用などに係る事業を実施します。

以上が、第2次対馬市総合計画に掲げる将来像への「4つの挑戦～対馬づくり～」に基づく各種事業でございます。

終わりに、対馬は、大陸に一番近い島であり、自然や文化にも大陸の影響を大きく残す宝の島であります。一昨年からの韓国人観光客の激減に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大と、非常に厳しい状況ではありますが、身近にある島の宝をフルに活用して、第2次対馬市総合計画に掲げる「みんなで目指そう！自立と循環の宝の島 対馬」の実現に向け、市民協働のまちづくりに取り組んでまいります。

引き続き、市政に対します市民の皆様並びに議員各位の大いなる御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 以上で、市長の施政方針説明を終わります。

暫時休憩します。再開を1時ちょうどからといたします。

午後0時01分休憩

午後0時58分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

日程第12. 議案第6号

○議長（小川 廣康君） 日程第12、議案第6号、令和3年度対馬市一般会計予算を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、有江正光君。

○総務部長（有江 正光君） ただいま議題となりました議案第6号、令和3年度対馬市一般会計予算について、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

予算の説明に先立ち、予算書と併せて別途配付しております当初予算資料を御覧ください。

一般会計をはじめ対馬市の各会計、当初予算の概要を記載しております。

3ページの当初予算総括表に、対馬市各会計の令和3年度当初予算額、前年度の当初予算額及び6月補正予算後の予算額を記載しております。前年度当初予算は、骨格予算として編成されて

おりますので、当初予算額及び6月補正後予算額との比較並びに増減率を記載しております。

4ページに一般会計の歳入内訳比較表、5ページに歳出目的別内訳比較表、6ページに歳出性質別内訳比較表を掲載しておりますが、こちらでは6月補正後予算から、新型コロナウイルス関連部分を除いた額を令和3年度との比較対象としております。また、7から8ページに主な新規事業などをそれぞれ記載しております。御参照くださるようお願いいたします。

それでは、当初予算書3ページをお願いします。

令和3年度対馬市の一般会計予算は、次に定めるところによることを規定し、第1条第1項で、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ307億8,800万円と定め、第2項で、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額を、4ページから8ページにかけての「第1表歳入歳出予算」によると定めております。

第2条で、地方自治法第230条第1項の規定により、起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、同じく10ページから11ページの「第2表地方債」によると定めております。

第3条で、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの限度額を80億円とし、第4条で、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合を定めております。

4ページをお願いいたします。

第1表歳入歳出予算についてでございますが、歳入及び歳出の款項の区分の金額については、4ページから8ページの第1表歳入歳出予算のとおりでございます。

10ページをお願いいたします。

第2表地方債には、公共事業等債から水道事業債までそれぞれの限度額を定め、限度額合計を33億720万円といたしております。

それでは、12ページから記載しております歳入歳出予算事項別明細書により、主なものについて御説明いたします。

本年度の当初予算総額は307億8,800万円で、対前年度比19億3,400万円の増でございます。

まず、歳入でございますが、1款市税は27億4,377万1,000円、前年度比較1億5,761万4,000円の減で、その主な要因は、新型コロナウイルス感染の影響による所得の減少や固定資産税の評価替えによるものでございます。

2款地方譲与税から10款地方特例交付金及び12款交通安全対策特別交付金は、令和2年度の交付実績見込みや令和3年度地方財政計画などを基に計上いたしております。

11款地方交付税は、地方財政計画におきましては5.1%の増でございますが、配分方法な

どが不確定であることを考慮し、対前年度比2.6%の増となる130億9,439万5,000円を計上しております。内訳につきましては、普通交付税を対前年度3億3,064万7,000円増の120億9,439万5,000円、特別交付税は前年度と同額の10億円をそれぞれ計上しております。

13款分担金及び負担金は、養護老人ホーム入所負担金、保育所入所負担金など、9,349万5,000円を計上しております。

14款使用料及び手数料は、各種公共施設の使用料、戸籍及び塵芥収集手数料など、3億5,481万円を計上しております。

15款国庫支出金は、41億8,618万2,000円の計上で、自立支援費負担金、生活保護費負担金、新型コロナウイルス接種対策費負担金、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金、地方創生推進交付金、社会資本整備総合交付金などがございます。

16款県支出金は、32億5,516万8,000円の計上で、保険基盤安定負担金、自立支援費負担金、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金、地籍調査事業補助金、漁港整備事業補助金、離島漁業再生支援交付金などがございます。

17款財産収入は、6,639万8,000円の計上で、土地、建物の貸付収入などがございます。寄附金は2億5,050万円の計上で、ふるさと納税寄附金などがございます。

19款繰入金は、22億6,092万2,000円の計上で、主なものとしては、財政調整基金、減債基金、振興基金、がんばれ国境の島対馬ふるさと応援基金、合併振興基金などからの繰入れでございます。

22款市債は、漁港整備、市道改良、博物館建設などの事業に充当するため、公共事業等債、合併特例事業債、辺地対策事業債、過疎対策事業債など、33億720万円を計上しております。

次に、歳出でございますが、14ページをお願いします。

1款議会費は、議会活動費など1億8,826万2,000円の計上で、前年度と比較し40万9,000円の減となっております。

2款総務費は、37億2,723万円の計上で、前年度と比較し2億4,364万1,000円の増となっております。増の主なものは、市議会議員選挙費、県知事選挙費、衆議院議員総選挙費、浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業費、21世紀まちづくり推進総合支援事業費などがございます。

3款民生費は、68億2,239万8,000円の計上で、前年度と比較しまして1億6,027万2,000円の増となっております。増の主なものは、自立支援事業費、認定こども園整備事業費、生活保護費などがございます。

4款衛生費は、42億2,070万2,000円の計上で、昨年度と比較しまして2億

7,991万3,000円の増となっております。増の主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種を含む予防接種事業費、塵芥処理費、海岸漂着物地域対策推進事業費、し尿処理費などでございます。

6款農林水産業費は、35億2,794万6,000円の計上で、前年度と比較しまして5億3,993万6,000円の増となっております。増の主なものは、産地水産強化支援事業費、漁場・漁港整備事業費、森林環境譲与税活用事業費、持続可能な新水産業創造事業費、離島漁業再生支援交付金事業費、燃油高騰対策事業費などでございます。

7款商工費は、10億7,468万3,000円の計上で、昨年度と比較しまして4億2万6,000円の増となっております。増の主なものは、滞在型観光促進支援事業費、地域社会維持推進交付金事業費、歴史資産活用事業費、三宇田浜園地リニューアル事業費、鰐浦園地整備事業費、湯多里ランドつしまプール施設の管理運営費などでございます。

8款土木費は、20億478万9,000円の計上で、前年度と比較しまして2億2,403万円の減となっております。減の主なものは、内山川改修事業費、厳原港国内ターミナル建設事業費などでございます。

9款消防費は、11億4,387万7,000円の計上で、前年度と比較しまして8,398万円の増となっております。増の主なものは、消防署支署建設事業費、耐震性貯水槽建設事業費などでございます。

10款教育費は、30億5,333万5,000円の計上で、前年度と比較しまして1億3,557万8,000円の増となっております。増の主なものは、博物館建設事業費、学校給食共同調理場整備事業費、小学校ICT機器に係る通信運搬費などでございます。

11款災害復旧費は、2億3,340万円の計上で、前年度と比較しまして2億3,267万4,000円の増となっております。増の主なものは、市道目保呂ダム支線の災害復旧費でございます。

12款公債費は、47億1,232万1,000円の計上で、前年度と比較しまして、6,794万9,000円の増となっております。

13款諸支出金は、旅客定期航路事業特別会計繰出金として1,905万7,000円を計上し、14款予備費は、6,000万円を計上しております。

なお、184ページから191ページにかけまして特別職及び一般職の給与費明細書を、また192から193ページに継続費に関する調書を、194ページから199ページにかけまして債務負担行為に関する調書を、200ページから201ページに地方債に関する調書を掲げておりますので、御参照方お願いいたします。

以上、簡単ではございますが、令和3年度対馬市一般会計予算の説明を終わります。御審議の

上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、議長を除く全議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査をすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川 廣康君） 異議なしと認めます。本件は、議長を除く全議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定をいたしました。

正副委員長互選のため、予算審査特別委員会を議員控室に招集いたします。

暫時休憩します。

午後 1 時15分休憩

午後 1 時27分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

報告します。予算審査特別委員会の委員長に大部初幸君、副委員長に作元義文君が決定されました。

なお、委員会の審査報告は3月16日に行います。

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日の議事日程は全て終了しました。明日は定刻から本会議を開き、議案説明等を行います。

本日は、これで散会とします。お疲れさまでした。

午後 1 時28分散会
